

三浦記念リウマチ学術研究賞 受賞者

| | | |
|----|--------|--|
| 1 | 平成2年度 | <p>小橋 修 佐賀医科大学 教授 自己免疫疾患ラット関節炎の発症機序における熱ショック蛋白の役割(従来のBCG65KD 熱ショック蛋白の交差反応性による自己免疫説に代わる新しい仮説の証明)</p> |
| 2 | 平成3年度 | <p>安達 正則 琉球大学医学部 地域医療研究センター 助教授 亜熱帯地域におけるリウマチ性疾患の疫学と病態</p> |
| 3 | 平成4年度 | <p>西村 泰治 熊本大学大学院医学研究科免疫識別学 教授 慢性関節リウマチ(RA)を誘導する抗原ペプチドの分離・同定</p> |
| 4 | 平成5年度 | <p>菅原 利夫 大阪大学歯学部口腔外科学第二講座 助教授 慢性関節リウマチに対する顎関節全置換術用人工顎関節の開発</p> |
| 5 | 平成6年度 | <p>藤川 敏 獨協医科大学越谷病院小児科 助教授 本邦における小児期膠原病の頻度と病態</p> |
| 6 | 平成7年度 | <p>江口 勝美 長崎大学医学部内科学第一講座 助教授 慢性関節リウマチにおけるアポトーシスの意義の解明とその制御における治療の試み</p> |
| 7 | 平成8年度 | <p>吉野 槇一 日本医科大学リウマチ科 教授 関節リウマチの神経・内分泌・免疫系について一病的滑膜のサイトカイン産生に対する各種神経ペプチドならびにカテコールアミンの役割</p> |
| 8 | 平成9年度 | <p>山西 裕司 東広島記念病院リウマチ膠原病センターリウマチ科 部長 慢性関節リウマチにおけるテロメラーゼ活性の検討</p> |
| 9 | 平成10年度 | <p>佐野 統 京都府立医科大学第一内科 講師 シクロオキシゲナーゼ-2 アンチセンスによる滑膜細胞へのアポトーシス誘導とRA治療への応用</p> |
| 10 | 平成11年度 | <p>林 素子 順天堂大学医学部公衆衛生学 助手 膠原病患者・家族に対するソーシャルサポート：ニーズの把握</p> |
| 11 | 平成12年度 | <p>宝来 玲子 東京大学医科学研究所 助手 IL-1 レセプターアンタゴニストノックアウトによる慢性関節リウマチモデルの作製</p> |
| 12 | 平成13年度 | <p>小嶋 俊久 名古屋大学医学部整形外科 医員 慢性関節リウマチ(RA)患者のQOL向上に関する疫学的検討 一抑うつ・ソーシャルサポートを含む心理社会的アプローチ</p> |

| | | |
|----|----------|---|
| 13 | 平成 14 年度 | 井田 弘明 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・制御学講座 助手 本邦初のTNFreceptor-associated periodic syndrome (TRAPS)家系調査 とリウマチ性疾患におけるTNFレセプター異常症の診断法の確立および新しい治療方の試み |
| 14 | 平成 15 年度 | 三宅 幸子 国立精神・神経センター神経研究所免疫研究部 部長 NKT 細胞を標的として関節リウマチ治療法の開発 |
| 15 | 平成 16 年度 | 加藤 善一郎 岐阜大学医学部附属病院小児科 講師 リウマチ性疾患治療応用へ向けIL-18 アンタゴニスト開発 |
| 16 | 平成 17 年度 | 畠山 鎮次 北海道大学大学院医学研究科分子化学講座分子医化学分野 教授 シェーグレン症候群関連自己抗原Ro52/SSAのユビキチンリガーゼとしての機能解析 |
| 17 | 平成 18 年度 | 土屋 尚之 筑波大学大学院人間総合科学研究科社会環境医学専攻 教授 ヒトB細胞株における体細胞組織換えを利用した、リウマチ性疾患関連遺伝子多型機能解析系の構築と病因病態解明への応用 |
| 18 | 平成 19 年度 | 藤門 範行 東京大学医科学研究所 助教 Dcir 遺伝子欠損マウスを用いたリウマチ性疾患におけるDcir の役割の解析 |
| 19 | 平成 20 年度 | 川端 大介 京都大学大学院医学研究科臨床免疫学 助教 全身性エリテマトーデスに対する B 細胞除去療法後の免疫再構築における BAFF (B cell-activating factor) 阻害の意義 |
| 20 | 平成 21 年度 | 三枝 淳 神戸大学大学院医学研究科立証検査医学講座/免疫内科 特命助教 増殖因子シグナルの制御による関節リウマチ治療法の開発 |
| 21 | 平成 22 年度 | 西城 忍 千葉大学真菌医学研究センター・感染免疫分野 特任准教授/JST さきがけ C型レクチンによる自己免疫疾患発症制御機構の解明 |
| 22 | 平成 23 年度 | 岡本 一男 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科分子情報伝達学 助教 自己免疫性 Th17 細胞を制御できる新規分子標的の探索 |
| 23 | 平成 24 年度 | 白井 剛志 東北大学病院血液免疫科 医員 脳症を呈する膠原病患者における抗 ephrin type-B receptor2 (EphB2) 抗体の臨床的・病原的意義の解明 |
| 24 | 平成 25 年度 | 畠山 鎮次 北海道大学大学院医学研究科生化学講座医化学分野 教授 リウマチ性疾患における免疫細胞活性化を制御するユビキチン化システムの解明 |

※敬称略、所属・肩書は授賞当時のものです。